

別紙1

事務事業評価(中間評価)シート【令和5年度】

主管課名(担当名)	港湾課(港湾事業担当)			
事務事業名	根室港港湾整備事業管理者負担金	事業番号	10228	
重点プロジェクト	☒ 該当 ☐ 非該当	評価時期	☒ 中間 ☐ 事後	事務区分 ☒ 自治 ☐ 法定受託

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	2-10 港湾の機能強化
	施策目標	北方四島交流を担う拠点港として人的・物的交流が盛んなまち

2 事務事業の概要と目的

対 象	事務や事業が対象としている人や団体など	港湾利用関係者
	対象者の今後の予想	同程度
活動内容 (事業の概要や具体的な内容、方法など)	重要港湾根室港 国直轄事業の実施 花咲港区・岸壁(-6.0m)(改良) 南埠頭荷捌地(災害)	
意 図 (どのような成果を得ようとしているのか)	岸壁改良(屋根付岸壁)により、荷役環境の衛生管理及び安全性・利便性の向上を図る。	

3 事務事業の現状

活動指標名		計画値 (H27)	実績値					目標値 (R2)	目標値 (R7)
			R1	R2	R3	R4	R5		
1	港湾整備進捗割合	59.5%	61.3%	61.8%	62.1%	62.6%	63.0%	62.7%	65.2%
2									
3									
4									
事業費(=下記内訳計)				R5予算		R5決算		R6予算	
				240,000		163,239		210,000	
内 訳	国道支出金								
	地方債								
	その他								
	一般財源								
人員(人工)				0.08		0.08		0.08	
職員人件費(=人員(人工)× 7,455 千円)				596		596		596	
総事業費(=事業費+職員人件費)				240,596		163,835		210,596	
単位コスト実績値 1(=総事業費÷成果実績値)				-		-			
単位コスト実績値 2(=総事業費÷成果実績値)				-		-			

4 事務事業の見直し状況や行政課題など

(事前評価にかかげた課題について記入)

見直し状況	☐ 検討中 ☐ 見直し・改善済み ☐ 見直しをしたが改善に至っていない ☒ 検討していない
見直しの内容など	港湾計画に基づき事業を行っており、事業の完了又は港湾計画の改訂まで見直しを行わない。
今後の動向・市民ニーズなど	港湾利用関係者から要望されている。

5 事務事業の評価

ア. 意図する成果に有効に結びついていますか	☒ 結びついている ☐ 一部結びついている ☐ 結びついていない 改良後の施設で、安心・安全な利用が図られる。
イ. 市以外がその事業に取り組むことは可能ですか（民間、NPO等）	☐ 可能 ☐ 一部可能 ☒ 不可能 港湾法及び北海道開発のためにする港湾工事に係る法律に基づく事業のため。
ウ. 事業内容の中で、見直しを行う必要はありますか	☐ ある ☐ 一部ある ☒ ない なし。
エ. 単位コストまたは事業費を工夫できるアイデアはありますか	☐ ある ☐ 一部ある ☒ ない 「港湾施設の整備技術上の基準」等により実施しているため特になし。
オ. 他の事業との統合について可能性がありますか	☐ ある ☐ 一部ある ☒ ない なし。
カ. 受益者に負担をいただく（又は負担を見直す）可能性はありますか	☐ ある ☐ 検討の必要性がある ☒ ない ☐ 既に負担がある 港湾施設について、係船使用料をいただいている。

6 事務事業の今後の方向性

今後の方向性	☒ 現状のまま継続 ☐ 見直しのうえで継続（ ☐ 拡充 ☐ 手段を見直す ☐ 効率化 ☐ 簡素化 ☐ 統合・振替） ☐ 終期設定あり（R 年度末終了予定） ☐ 休止 ☐ 廃止 ☐ 完了
--------	---

作成年月日

令和6年9月

別紙1 事務事業評価(中間評価)シート【令和5年度】

主管課名(担当名)	港湾課(港湾事業担当)			
事務事業名	根室港区港湾施設改良整備事業	事業番号	12901	
重点プロジェクト	☒ 該当 ☐ 非該当	評価時期	☒ 中間 ☐ 事後	事務区分
				☒ 自治 ☐ 法定受託

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	2-10 港湾の機能強化
	施策目標	北方四島交流を担う拠点港として人的・物的交流が盛んなまち

2 事務事業の概要と目的

対 象	事務や事業が対象としている人や団体など	港湾利用関係者
	対象者の今後の予想	同程度
活動内容 (事業の概要や具体的な内容、方法など)	根室港区海岸町物揚場等と船舶上架施設の機能低下が見られることから、北海道開発局と市の所管施設について計画的に施設整備を図ると共に、現状の利用実態を踏まえ物揚場の増深や嵩上げ、船舶上架施設など施設整備を行う。	
意 図 (どのような成果を得ようとしているのか)	施設改良により、施設機能の向上が図られる。	

3 事務事業の現状

活動指標名		計画値 (R2)	実績値					目標値 (R2)	目標値 (R7)
			R1	R2	R3	R4	R5		
1	物揚場・防波堤整備延長L=102m	—	—	—	0%	0%	0%	—	100%
2	上架施設整備	—	—	—	0%	3.0%	100.0%	—	100%
3									
4									
事業費(=下記内訳計)				R5予算		R5決算		R6予算	
				425,856		418,820		359,800	
内訳	国道支出金			21,090		19,299		204,000	
	地方債			250,300		247,500		155,800	
	その他			143,700		142,700		0	
	一般財源			10,766		9,321		0	
人員(人工)				0.08		0.08		0.08	
職員人件費(=人員(人工)× 7,455 千円)				596		596		596	
総事業費(=事業費+職員人件費)				426,452		419,416		360,396	
単位コスト実績値 1(=総事業費÷成果実績値)				-		-			
単位コスト実績値 2(=総事業費÷成果実績値)				-		-			

4 事務事業の見直し状況や行政課題など

(事前評価にかかげた課題について記入)

見直し状況	☐ 検討中 ☒ 見直し・改善済み ☐ 見直しをしたが改善に至っていない ☐ 検討していない
見直しの内容など	船舶上架施設の老朽化から同施設の強化及び効率化のため改良事業を追加し、令和4年度以降の事業を進める。
今後の動向・市民ニーズなど	港湾利用関係者から要望されている。

5 事務事業の評価

ア. 意図する成果に有効に結びついていますか	☒ 結びついている ☐ 一部結びついている ☐ 結びついていない 物揚場等の施設及び上架施設の改良により、安全・安心な施設利用が図れる。
イ. 市以外がその事業に取り組むことは可能ですか（民間、NPO等）	☐ 可能 ☐ 一部可能 ☒ 不可能 港湾法及び北海道開発のためにする港湾工事に係る法律に基づく事業のため。
ウ. 事業内容の中で、見直しを行う必要はありますか	☐ ある ☐ 一部ある ☒ ない 港湾施設の適切な維持管理を図るため施設の改良計画を推進していく。
エ. 単位コストまたは事業費を工夫できるアイデアはありますか	☐ ある ☐ 一部ある ☒ ない 「港湾施設の整備技術上の基準」等により実施しているため特になし。
オ. 他の事業との統合について可能性がありますか	☐ ある ☐ 一部ある ☒ ない なし。
カ. 受益者に負担をいただく（又は負担を見直す）可能性はありますか	☐ ある ☐ 検討の必要性がある ☒ ない ☐ 既に負担がある 港湾施設について、係船使用料をいただいている。

6 事務事業の今後の方向性

今後の方向性	☒ 現状のまま継続 ☐ 見直しのうえで継続（ ☐ 拡充 ☐ 手段を見直す ☐ 効率化 ☐ 簡素化 ☐ 統合・振替） ☐ 終期設定あり（R 年度末終了予定） ☐ 休止 ☐ 廃止 ☐ 完了
--------	--

作成年月日

令和6年9月